記者発表資料

平成２６年１２月 １８ 日
国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所

第4回「鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を開催します

国土交通省新庄河川事務所は、下記のとおり第4回「鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を開催します。
第4回委員会では、鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画書を審議します。

記

○ 日　時 ： 平成２６年１２月２４日（水）１３：３０～１６：３０

○ 場　所 ： 酒田産業会館 4F 『日本海』
（住所：山形県酒田市中町 2-5-10）

○ 内　容 ： 別紙「議事次第」のとおり

○ 委員名簿： 別紙「委員名簿」のとおり

○ 公 開 等： １．本委員会は公開としております。
２．報道関係者の席を用意しております。
３．一般の方で委員会の傍聴を希望される方は、会場の都合により数に限りがありますので先着順とさせていただきます。

＜発表記者会： 山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会
酒田記者クラブ、秋田県政記者会＞

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所
山形県新庄市小田島町５番５５号
ＴＥＬ：０２３３－２２－０２６２（調査課直通）
副所長（砂防）　佐藤（さとう） 勝美（かつみ）（内線２０５）
調査課長　田村（たむら） 公仁（きみひと）（内線３５１）

別紙

第４回

鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会

日　時　：平成 26 年 12 月 24 日（水）　１３：３０～１６：３０
場　所　：山形県酒田市 酒田産業会館
司　会　：新庄河川事務所　技術副所長

議　事　次　第

１．開　会

２．委員紹介

３．挨　拶　　新庄河川事務所長

４．議　事　　進行：委員長

１）これまでの経緯

２）鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画書（案）について

①噴火シナリオとハザードマップについて

②緊急減災対策砂防計画について

５．火山防災に関わる最近の話題

秋田大学　教育文化学部　教授　林信太郎氏

６．閉会

別紙

■鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会　名簿

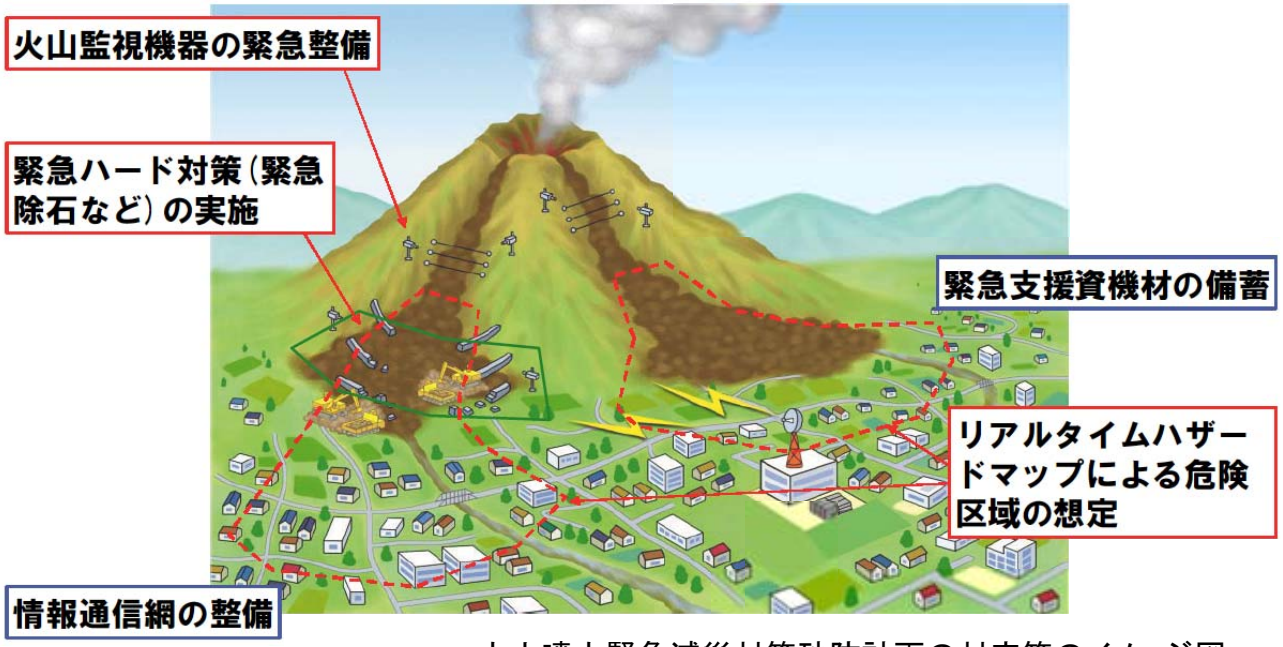
委員構成	氏名	所属・役職等
学識経験者	檜垣　大助	弘前大学農学生命科学部 教授　（委員長）
	林　信太郎	秋田大学教育文化学部 教授
	植木　貞人	東北大学大学院 客員研究者
	井良沢　道也	岩手大学農学部 教授
専門機関	長井　義樹	国総研/土砂災害研究部　深層崩壊対策研究官
	石塚　忠範	土研/火山土石流ﾁｰﾑ上席研究員
	巻　和男	気象庁仙台管区/火山防災情報調整官
	菅原　寿	気象庁 山形地方気象台 防災管理官
	福山　佳之	気象庁 秋田地方気象台 防災管理官
行政機関（国）	木村　光一	林野庁/由利森林管理署長
	伊巻　和貴	林野庁/庄内森林管理署長
	山科　勝嗣	東北地方整備局 河川部 広域水管理官
	瀧澤　靖明	鳥海ダム調査事務所長
	藤沢　和範	新庄河川事務所長
行政機関（県）	清水　信雄	山形県県土整備部砂防・災害対策課課長
	橋本　仁	山形県環境エネルギー部危機管・くらし安心局危機管理課課長
	吉尾　成一	秋田県建設部河川砂防課課長
	渡辺　雅人	秋田県総務部総合防災課課長
行政機関（市町村）	本間　正巳	酒田市長
	時田　博機	遊佐町長
	横山　忠長	にかほ市長
	長谷部　誠	由利本荘市長
事務局	新庄河川事務所 調査課	
備考		

鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画

・ 国土交通省では平成19年度より、火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）するために「火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定することとしています。

・ 鳥海山は計画の策定に向け、平成23年12月に、学識者と関係行政機関からなる本委員会を設置し、噴火シナリオなどを検討して参りました。

・ 秋田・山形両県が、今後、火山の避難対策などについて議論されていくことになりますので、「鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」でとりまとめる噴火シナリオ、火山ハザードマップを適宜情報提供するなど積極的に協力し、鳥海山の火山防災対策を進めて参ります。



火山噴火緊急減災対策砂防計画の対応策のイメージ図